

1. 下郷町の美しい自然

(1) 河川かせん

大きい川や小さい川、高い山から海へ地表ちひょうを流れる水を河川かせんと呼んでいる。わたしたちの町を流れる大きな川は、阿賀川（あががわ）という。大川とも呼んで、むかしから人々に親しまれてきている。下郷町自然マップ「郷土を流れる川」（103）ページの地図にしめたように、田島方面から、若松方面に流れる阿賀川（大川）には、いくつもの支流しりゅう（沢や川）が集まって川幅がだんだん広がって下流へと流れ、やがて只見川と合わさって阿賀野川となり、日本海に流れこんでいる。

わたしたちの町は、美しく高いいろんな山々に囲まれている。下郷町自然マップ「郷土の山々」（104）ページの地図のとおり。その山々から流れ出るいくつもの水の流れが、やがて谷川となり、沢をつくり、川となり阿賀川に集まっている。主な支流しりゅうをあげてみると加藤谷川・観音川・戸石川・男女川・隈川・大沢川・鶴沼川・小野川などである。下郷町自然マップ「郷土を流れる川」（103）ページの地図で場所を確かめてみよう。そしてこれらの川の各所には、いくつかの砂防ダムさぼうダムや発電用のダムがつくられている。このダムの造られる前は、下郷町にも鮭さけや鱒ますが日本海から登ってきたのです。ダムは、洪水こうずいを防いだり電気を起こしたりするが、魚はダムを登ることはできないのです。

また、わたしたちの下郷町には、美しい沼や滝などがあちこちにあるので、先生と、または、家族の人と休みなどを利用して見てまわってほしいものです。美しい



草花や、めずらしい生きものにも会えることでしょう。

←【大川ラインの紅葉】

はしざか ひめかわ
橋坂・姫川よりながめる大川ぞいの秋の紅葉は美しい。